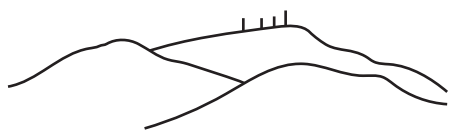


Youth Manna

2020/10/26 - 11/1



マルコ 1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2020/10/26(月)

エレミヤ 30 章

イスラエルとユダは神様に聞き従わなかったので、バビロンに滅ぼされたけど、神様はさばきの後に回復の道を用意されていました。神様がさばくのは、さばき自体が目的ではなく、民が罪を悔い改めて、神様に立ち返るためなんだ。神様はご自分の民との関係が回復することを誰よりも願っておられる愛なる方だよ！

●18~22節をもう一度読もう！
ここから、神様があなたに願っておられることは何だと思うかな？
「いつか」ではなく、今から神様との関係を大事に歩もう！心を神様に向ける決断をしよう！！

2020/10/27(火)

エレミヤ 31:1-22

神様は定められたときに民を捕囚から帰還させ、イスラエルは建て直されると語られました。神様は、罪のゆえにご自分から離れてしまった民に対し、わたしの愛は永遠であると語られているよ。そして実際にイスラエルは捕囚から回復して直されたんだ。

後の時代に、イエス様を拒み十字架につけたイスラエルは、A.D.70年にローマによって滅ぼされ、約1900年間も流浪の民として世界中に散らされましたが、1976年に国は回復し、今も北の国、地の果て(8)から民は帰還してきています。神様の愛は永遠です。

その神様の永遠の愛は、私たちにも注がれています！そのことをあなたはどう受け止め、応えて生きますか？祈ろう！

2020/10/28(水)

エレミヤ 31:23-40

イスラエルとユダの回復の預言が夢でエレミヤに語られました。31節に書いてある神様が結ぶ「新しい契約」とは何だろう？33-34節がその内容だね！イスラエルに語られたこの預言は、イエス様の十字架によって成就したことです！そして後の時代に異邦人である私たちにも福音は伝えられ、私たちも神の民に加えられ、契約の中に入れられました。これは神様の恵みによることです。

しかしこの契約は、まだ完全には実現していません。すべての人に福音が語られ、異邦人の時を経て、その後にイスラエルは救われるからです(ロマ11:25,26)。

この契約が完全に実現する日が来ることを願って、イスラエルの救いと、私たちの家族友人の救いのために祈ろう！！

2020/10/29(木)

詩篇 82 篇

「神は、神々のただ中で、さばきを下す。」(1節) 神は悪い支配者を一時的にそのままにされるが、それで終わることはない。

人間は罪人であり、権力を得た者が正しく用いるとは限らない。正しい者のためではなく、自分の都合によって物事を進めて行くこともある。例としてイエスを裁判にかけたピラトがいる。ピラトは判決に当たり、ユダヤ人の関心を買おうとし、正義がねじ曲げ、イエスの死をやむなしとした。このような現実には、私たちの社会にもたくさんある。上に立つ者が自分の保身や野心のために、何が正しいかを犠牲にして損得で物事を進めたりする。しかし神はそのような悪しき者を見逃すことはない。

あなたは神様に与えられている役割に忠実に仕えていると言えるだろうか。自分の考えだけで歩んでいるなら悔い改めよう。

2020/10/30(金)

詩篇 83 篇

▶この詩がどの時代に書かれたものなのかは分かっていない。エレミヤの時代とは時代背景が違うので気をつけよう。今日の箇所では「イスラエルに敵対 = 神様に敵対」だ。

▶この詩を歌った人は、危機的な状況から救われることを求めていた。しかしそれ以上に神様の御名が軽く見られていたことを悔しがっている。その悔しさを神様に祈った。

▶神様の御名が軽く見られているか、あがめられているかはクリスチャンにとって大きな問題だ。主の祈り(マタイ6:9~13)でも最初に出てくるよね。今日は主の祈りを祈ってから1日を始めよう！

2020/10/31(土)

詩篇 84 篇

今日の箇所を書いた人は、どれほど神様のそばに居ることを喜びに感じていたんだろう？もし時間があればぜひもう一回ゆっくり読んで味わってみよう！

神様のそばに居る理由は神様が何かをしたから、願いを聞いてくれたから、という具体的なことではなかったよね。むしろ涙の谷 - 辛い中を通る時でさえ、「主の住まいはなんと慕わしい」とただただ神様と一緒に居ること自体を喜んでいたんだ。

今日、みんなの中に主がいてくださる！そのことがどれほど恵みと喜びに満ちたものか、神様に静まって思いを向け味わう時間をとろう！

2020/11/1(日)

エレミヤ 32:1-25

心の内を素直に打ち明けた時、受け止めてくれる友人や家族がいることは感謝なことです。それ以上に、誰よりも私たちのすべてを受け止めてくださる神様に、自分の心の内を打ち明けられる私たちはなんと幸いなことでしょうか。

エレミヤは、滅びゆくユダの土地を買うようにと神様から言われた時にも、神のことばに従い、「なぜですか」と言いたくなる時にも、賛美をもって神様に祈り、自分には理解できないことであっても、神様に不可能はないと信じて祈りました。

私たちも「なぜ」と言いたくなるような状況にあっても、心の内を神様に祈ることができるとは。どう祈って良いかわからない時にも、まず自分の心の内に感じていることを神様に話してみよう！！